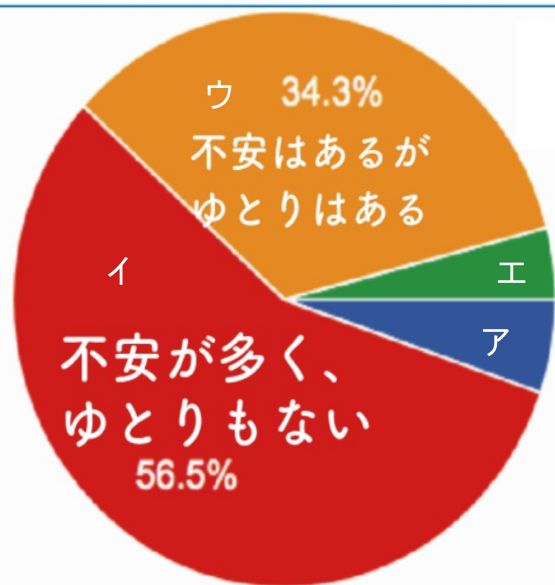




問1 暮らしの実感を教えてください



- ア、ゆとりがあり、不安はない
- イ、不安が多く、ゆとりもない
- ウ、不安はあるが、ゆとりはある
- エ、すぐに助けてほしい

日本共産党愛西市員会は、「市民アンケート」に取り組み、300通を超える回答がありました。その集計を行いましたので、報告します。

【市民アンケート】 300通を超える回答

① 生活経済・家計の圧迫（最も多い声）

- ・物価高騰：食料品や日用品の値上がりで生活が苦しい。年金が増えない。
- ・公共料金：上下水道料金が非常に高い（特に接続後の大幅な値上がり）。
- ・支援策への不満：近隣市町で行われている「プレミアム商品券」の発行が愛西市にはない。

② 交通・移動の困難（高齢層に集中）

- ・巡回バスの不便さ：本数が少ない、待ち時間が長い、バス停が遠い（山路町、草平台など）。
- ・免許返納後の不安：車に乗れなくなったら生活が成り立たない。
- ・タクシー代の負担：通院時のタクシー代が高額。補助を若年層（55歳～など）から広げてほしい。

③ 高齢者・一人暮らしの孤独と不安

- ・緊急時の対応：急な体調不良時に誰が助けてくれるのか、発見されるのかという恐怖。
- ・生活支援の不足：掃除、洗濯、溝掃除など、体力の衰えでできなくなる作業への支援。
- ・相談相手の不在：孤独感、話し相手がいらないことによる精神的な不安。

④ 市政・行政サービスへの不満

- ・税金の使い道：「ハスパーク」や「道の駅」など、自分たちの生活に直結しない箱物行政への批判。
- ・行政のデジタル化不足：市役所のWi-Fi未設置、手続きのオンライン化の遅れ。
- ・公平性への疑問：外国人への支援や、特定の年代（子育て支援のみ）への偏りに対する不公平感。

⑤ 住環境・インフラの劣化

- ・道路状況：冠水、街灯の不足、歩道の欠如、雑草の放置、側溝の劣化。
- ・近隣トラブル：農地の管理不足（害虫）、香害（洗濯物の柔軟剤）、ゴミ問題。

初めての議場コンサート行われる

2026年1月6日、市政20周年記念事業として、愛西市議会の議場でコンサートが行われました。このコンサートは、市民と議会の交流をするために議員の実行委員会が計画し、行いました。観客、演者ふくめ250人以上の参加がありました。

参加団体は、草平保育園あお組、清林館中学校・高校吹奏楽部、同太鼓部、同チアリーディング部、佐屋高校和太鼓部、愛西マーチングバンドBLOWING Jr.の4団体6チーム。

日本共産党市議団のまの和久議員が司会をしました。

